

入選作品

パリシュ・ブルーの朝



たかはませいじ

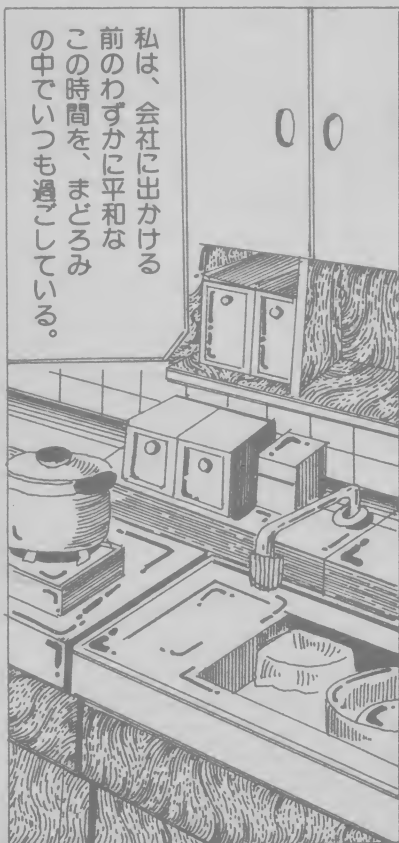
昨夜は一睡も
できないまま朝が
来てしまった。
陽はすでに街に現われ、
空を「青く」染め
始めていた



小鳥のかすかな
声が聞こえる
なんのへんてつもない
平凡な一日の始まり。



私は、会社に出かける
前のわずかに平和な
この時間を、まどろみ
の中でいつも過ごしている。

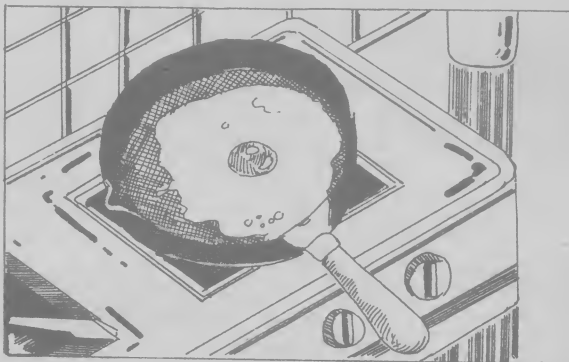




ここだけの話だが、妻は処女でなかった。このことが、負い目になってか、朝ごはんだけは、作ってくれる



愛する妻は、私のためにおいしいブレックファーストをつくっている



しかし、いつもと違っている事が一つだけあった。



今日のメニューは目玉焼き
ああ……なんとステキな朝だろうか。
なにかも、いつもと同じ……

それは、私が完璧に「カネゴン」に変身していたことであつた。何の因果か、一夜明けたら、この姿だつたのだ。



今、何故
カネゴンか！
それはシ
ュールな質問
である。

次の図が変身前、
つまり 昨日までの
私の全身図である。



コレ

次の図が変身前、つまり昨日までの私の全身図である。

カネゴンとげ

カネゴン目

カネゴンくちびる

カネゴン手

カネゴンがまぐち

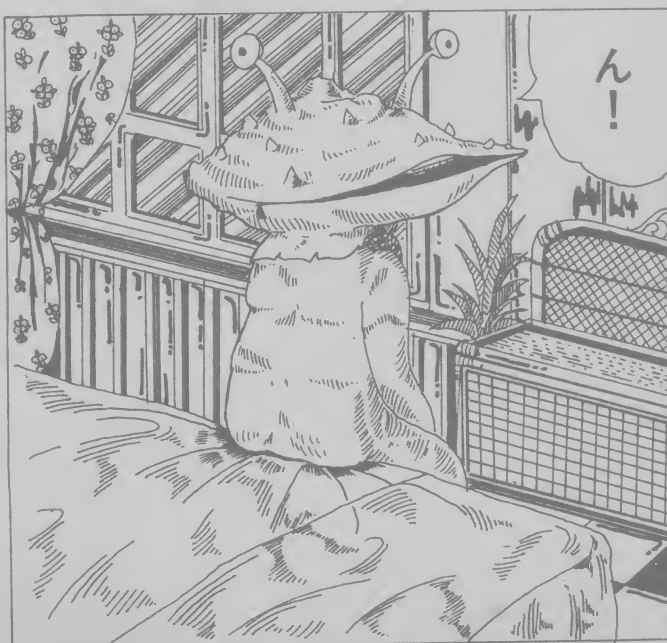
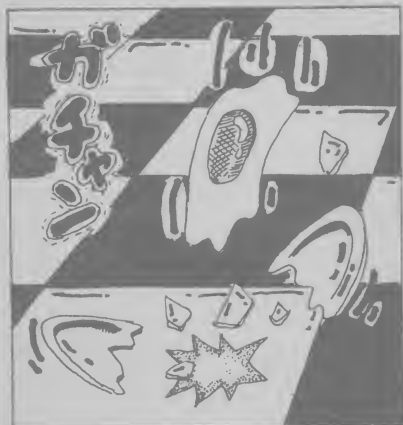
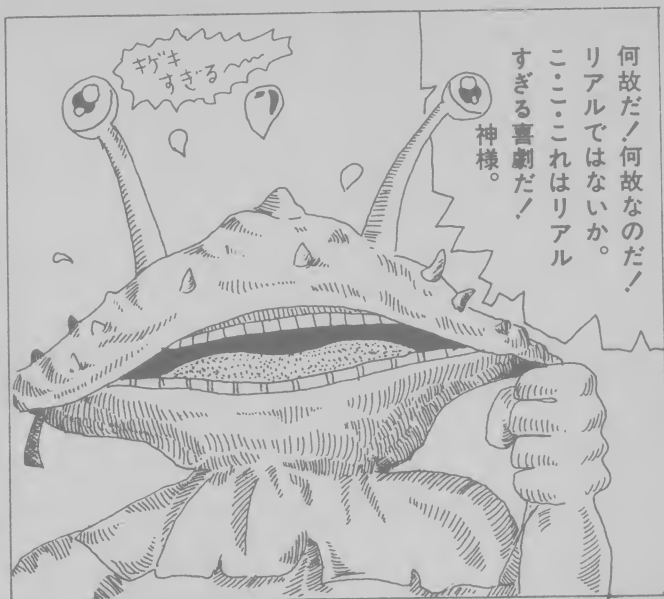
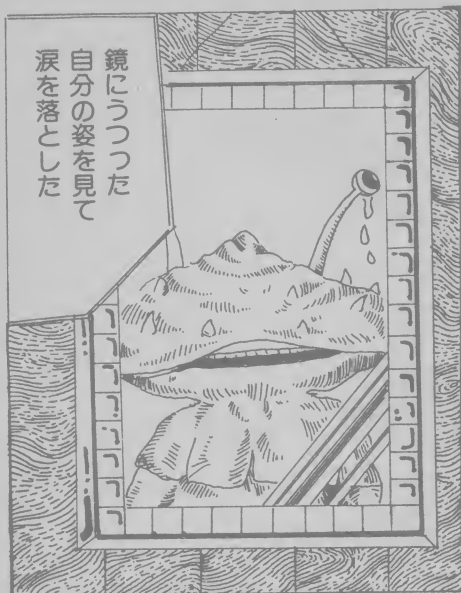
ユインぶくろ

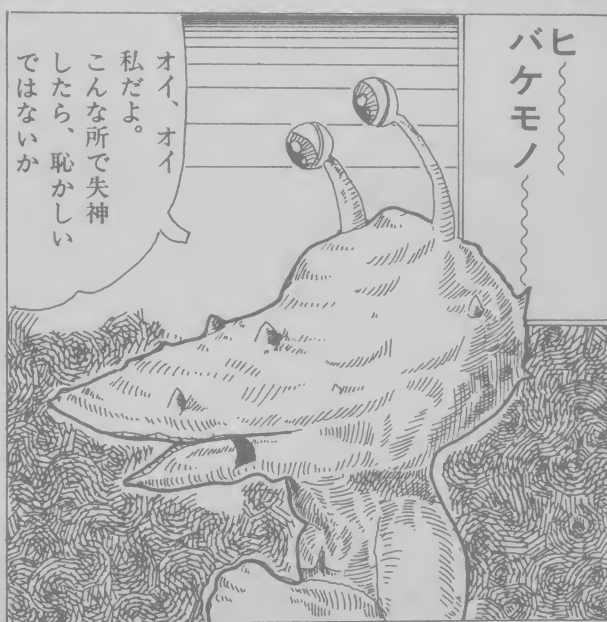
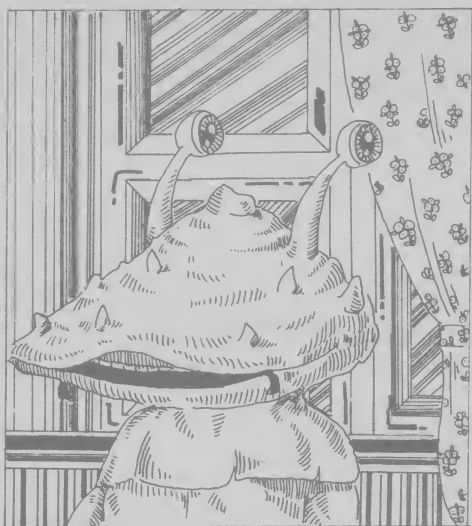
横たけ 2メートル

おもさ 200キログラム

頭の先からここまでめいっばい「カネゴン」なのである。

青たけ	2メートル
おもさ	200キログラム





離して下さいますか。

何するのですか。

もう一つにうつて決めて
その後で決めて
試してみます
で、私のお話
を、私のお話
を、私のお話

「コ
レ。
じやないか
いかに
10分
奥さん
おす
かす
よ。」

もちろつて決めてしまふ
その後で決めてしまふ
試してみます

ちやうど来てっつ
うか、種田
はちん、い

セーブル・スマイル・サマ
ツキ・ツキ・ツキ

助けてエー
カネゴンのあなたー
「コンドームのセールス
マン」に犯され
るわー！
カネゴンのあな
た



「妻のピン
チだ」と
私の無意識の
意識が
呼び始めた。



そうすると、いつの
まにかに、私の右足は
「コンドームのセールス
マン」の下腹部に
めりこんでいた。



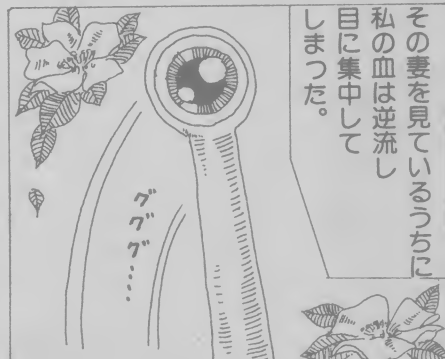
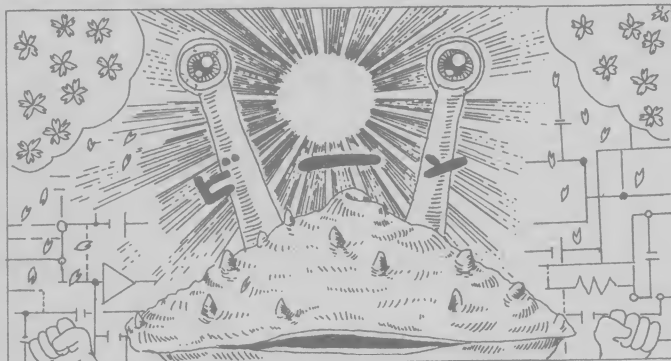
と、セールスマンは
以外にも
すんなりと
死んでしま



その血の海の中での
妻は美しく
とてもエロチックだった。



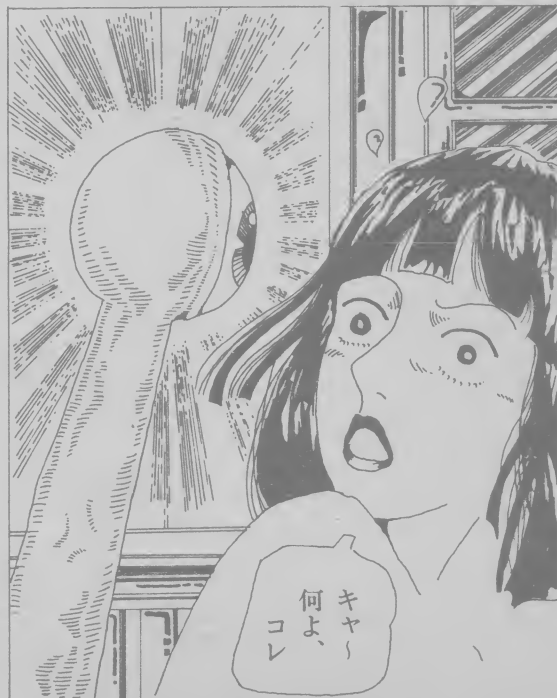
家の中はセールスマンの
頭から流れ出る血で
一面、赤く染まって
しまった。

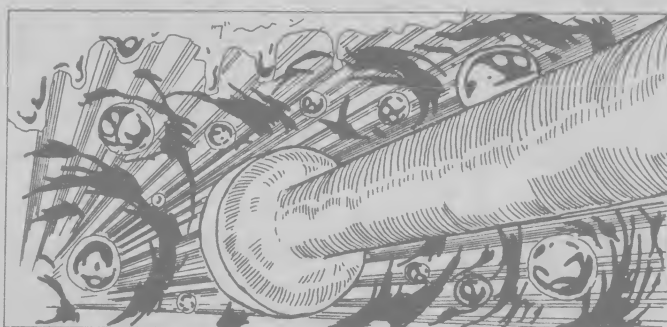
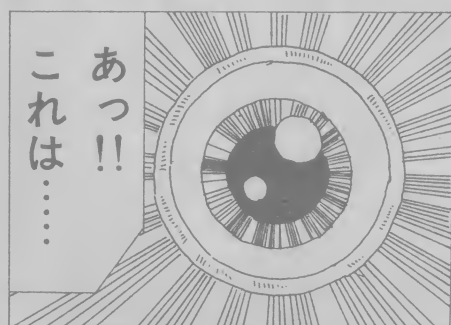
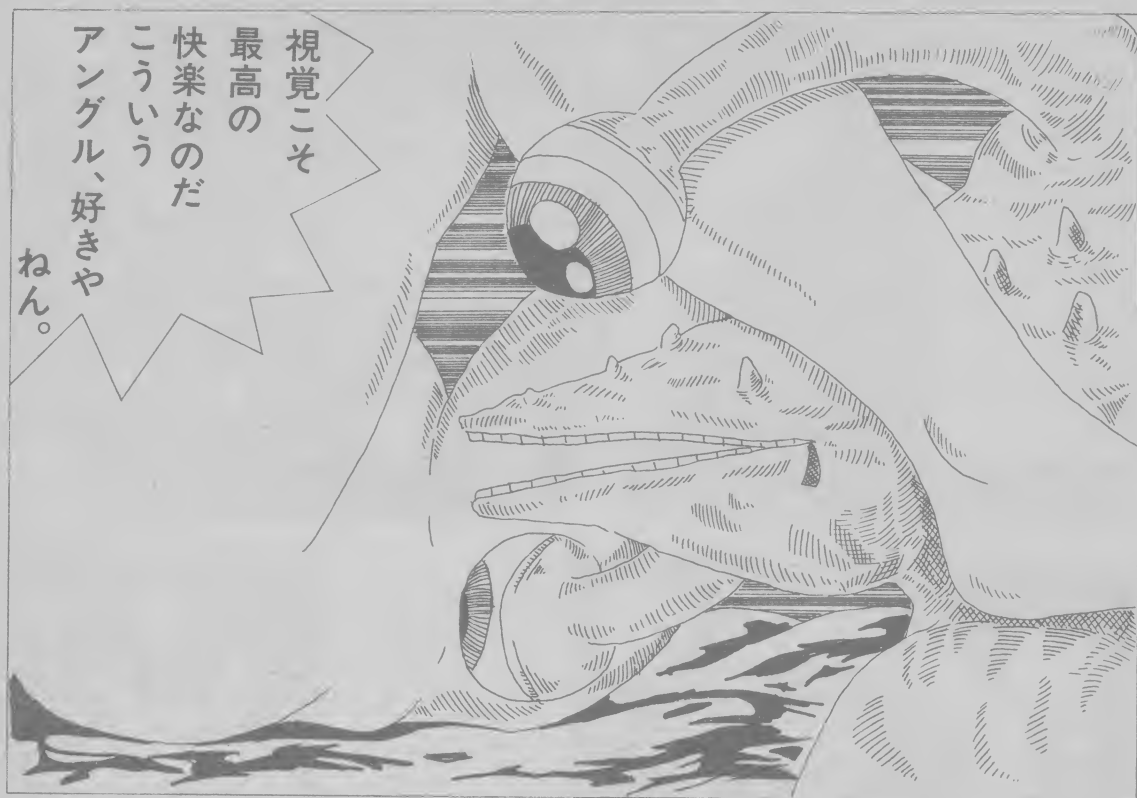


その妻を見ているうちに
私の血は逆流し
目に集中して
しまった。

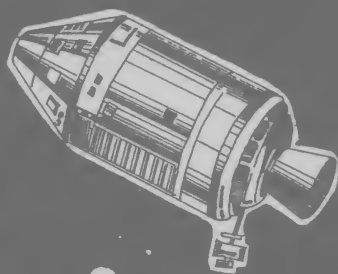


つまり
欲情した
カネゴンの私が
妻を視姦
すること、
なったのだ。





そこは、暗黒の宇宙だった。
すべて命あるものよ
産する女は、宇宙をも
有していたのだろうか！



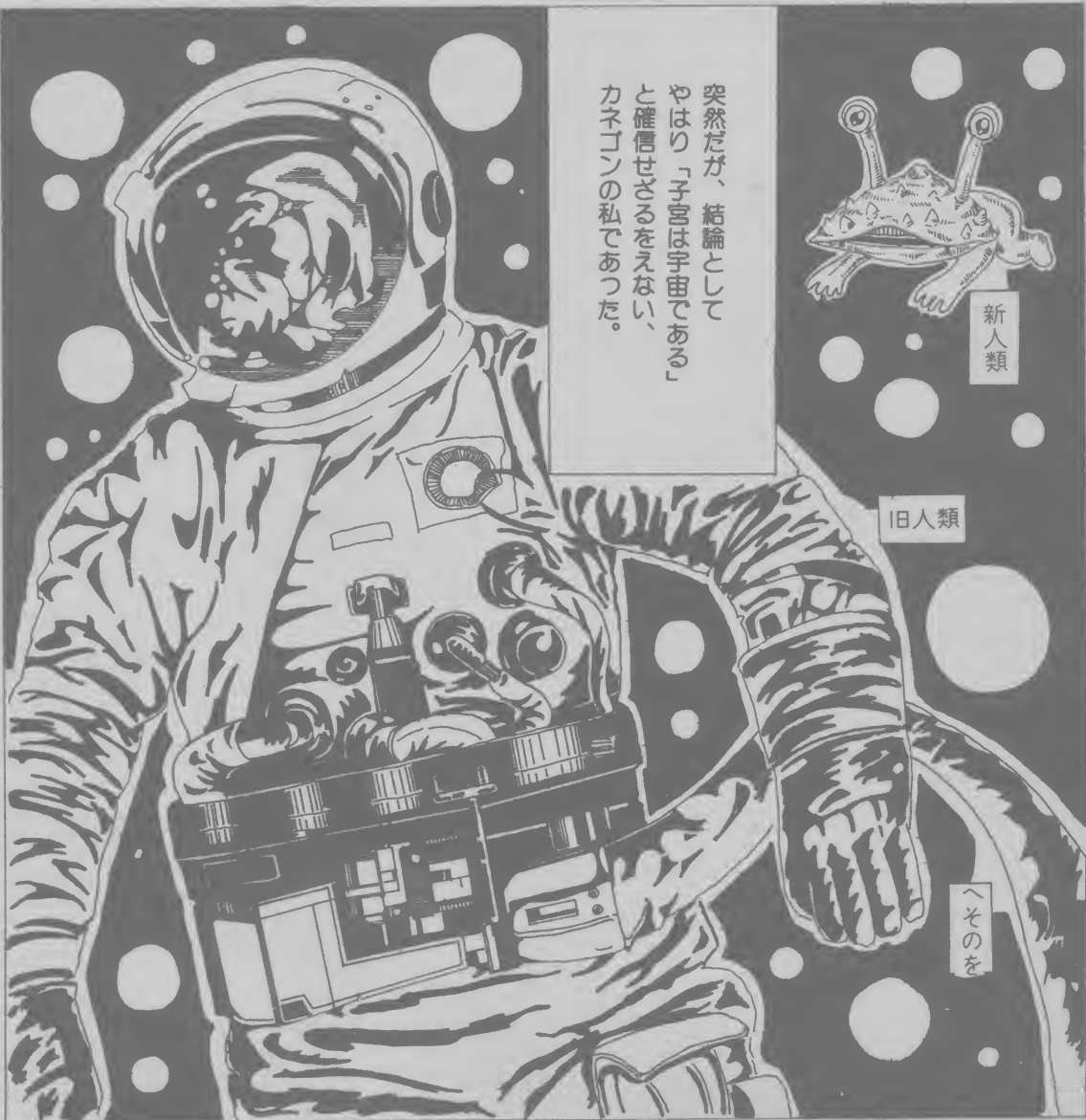
突然だが、結論として
やはり「子宮は宇宙である」
と確信せざるをえない、
カネゴンの私であった。



新人類

旧人類

へそのを



おしまい!!